

令和6年度(2024年度) 学校評価計画

校 訓
一 質 実 ・ 剛 健 一 誠 実 ・ 堪 能 一 積 極 ・ 真 摯
中・長期的学校目標
1 農業や関連産業の持続可能な発展及び地域社会・文化の担い手として貢献できる人材を育成する。 2 農業の持つ教育力を最大限に活用し、知・徳・体の調和のとれた人格を形成する。
本年度の重点目標
1 人権の尊重と命を守る危機管理を徹底し、みんなが安全に、安心して生活できる学校づくりの推進 ・人権の尊重は、自分の命も、他人の命も尊重し大切にすること。生徒と教員がともに人権意識を高め、いじめや体罰がなく、自分の人権が尊重されていることを実感し、安心して生活できる学校づくりを進める。 ・災害や日常起こりうる事故など、危機管理意識を高め、自らの命を守る力を育成する。 ・個人情報や、一人一人の人権に関わるものであることを自覚し、取扱いに厳重に行うなどのモラルを育成する。 2 様々な学びの提供と基礎学力の定着 ・ICTの活用やスマート農業など、新たな学び方や教材の活用を進め、生徒の“わかった”の感動を引き出すとともに、将来につながる基礎学力の定着を目指す。 ・学習評価の明確化や、指導と評価の一体化などにより、生徒の学びの意識を高める。 3 進路実現とキャリア形成につながる指導の推進 ・自らの目標や将来像を持ち、それらを実現する手段として進路を考え、キャリアを形成していく態度を育てる。 ・体験から学ぶ機会や地域や外部の有識者からの話を通して、将来像の形成につながる機会を充実させる。 4 基本的な生活習慣を維持し、心身ともに健康な生活を支援 ・生徒が大人（教員・保護者）に相談しやすい相談体制の充実を図る。 ・生徒の心情や生徒を取り巻く様々な課題に目を配り、課題予防的生徒指導の充実を進める。 5 地域連携活動を通じて郷土愛を育て、地域から信頼される魅力ある学校づくり ・地域との関わりの中から、課題を見つけ、解決を探り活動することで、探究的な学びを推進し、地域理解を深めるとともに、学びの成果から生徒の自己有用感を高める。

評価項目	評価の観点
安全・安心な教育を推進するための取り組み	・いじめや暴力・暴言を許さない学校づくりを進めるために、生徒が発する小さなサインや人間関係の悩みを見逃さず、早期発見・早期対応ができたか。
	・集団での人間関係づくりや学校での居場所づくりを心がけるとともに、学校生活への不安や悩みなどに対して心のケアができたか。
	・生徒に対する人権尊重や安全・安心な学校づくりを推進するために、教職員の意識啓発を図り、生徒の心情に寄り添った教育を推進できたか。
	・防災や事故防止の意識を高め、生徒自らが身を守ることができる力を育成できたか。
学習習慣の確立と学力を向上させるための取り組み	・授業規律や授業五か条にもとづき、授業時間の厳守や学習に向かう姿勢、学習のねらいを意識・理解させ、3観点を踏まえた座学や実験実習を行うことができたか。
	・生徒の学習意欲を喚起し、基礎学力の定着を図るために、教材の開発や工夫、外部講師の活用や校外学習、ICT機器や視聴覚機器の活用など授業改善ができたか。
	・学習評価等を活用し、分かりやすい授業の実践や生徒に対する学習支援を通して、一人ひとりにできる自信と学ぶ喜びを実感させ主体的に学ぶ姿勢を醸成できたか。
基本的生活習慣や秩序を確立するための取り組み	・校則の意義や道徳心の大切さを理解させ、組織や集団においてルールやマナー・秩序を自発的に守る指導を通して、健全な人権感覚や規範意識を育むことができたか。
	・気持ちのよい挨拶や思いやりのある人間関係を形成させ、楽しく明るい学校生活や校風づくりを醸成できたか。
	・学習指導と関連付けながら日常的な生徒指導の充実を図るとともに、多様な背景を持つ生徒の個別理解を深め、問題行動を未然に防ぐ予防的指導ができたか。
	・清掃美化等の活動を通して、生徒自らが学習環境を整えるとともに、ゴミ分別やリサイクル意識を身につけさせ、公共心や社会性を育むことができたか。
課外活動を充実するための取り組み	・校友会、班活動、農業クラブ等の課外活動の目標の達成に向けて、主体的かつ協働的に活動できるよう適切な助言・指導をすることができたか。
	・生徒が学校の特色や伝統を尊重し、学校生活の身近な諸課題の解決や学校文化の創造に向けて、主体的に活動できるよう支援することができたか。
進路希望を実現させるための取り組み	・個々の生徒の実情や多様化・複雑化する進路希望に応じた計画的・段階的な進路指導と、進路実現のための個別の学習指導と進路情報の提供・活用ができたか。
	・進路講話やガイダンス、職場体験や事業所見学等の多様な機会を活用し、生徒一人ひとりのキャリア形成を支援することができたか。
	・家庭との連絡・相談を密にし、生徒の個性や適性、希望に応じた進路を実現させることができたか。
資格取得を推進するための取り組み	・生徒に資格取得の意義や目的を理解させ、生徒一人ひとりが目標をもって自発的に検定や資格に取り組むよう指導することができたか。
	・分かりやすい教材の工夫や効果的な指導によって、より高い合格実績を目指すとともに、生徒が資格学習を通して成長実感を味わえるよう支援することができたか。
地域理解と地域活動を推進するための取り組み	・地域連携や地域貢献に係る活動に積極的に参加することを通して、地域や産業に対する関心・理解を深めることができたか。
	・学校で学ぶ専門的な知識・技術や高校生の発想・アイデアを活かし、地域の問題解決や産業振興につながる実践的・探究的な活動を行うことができたか。